

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

 新国立劇場
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
2021年7月版



新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年秋に開場いたしました。以来、現在まで、世界水準の公演を制作、上演し、広く国民の皆様へ愛され親しまれてまいりました。

オペラパレス、中劇場、小劇場の特色ある3つの劇場を有し、年間280ステージの主催公演を実施、海外からのお客様を含め約22万人の方々にお楽しみいただいております。また、他の芸術団体へ劇場施設を提供し、日本の舞台芸術の発展に寄与する貸劇場公演も年間340ステージ、約24万人のお客様にご来場いただいております。(*)

新国立劇場は社会との関わりを大事にしています。劇場の役割として、若い世代が優れた舞台芸術に触れる機会をつくる普及公演、全国各地での公演、そして、共同制作をはじめとする国内外の劇場との提携も積極的に推し進めております。とりわけ近年は国際的文化交流が盛んになり、日本における文化発信拠点としてのグローバルな重要性はますます高まってまいりました。また、舞台を多角的に楽しんでいただくため、新国立劇場が保有する資料、舞台美術、衣裳などを活用した展示なども行っています。

同時に、現代舞台芸術に係る人材育成も重要な使命であり、劇場が制作上演する3部門の現代舞台芸術を将来にわたり支える次世代の芸術家を育成すべく、オペラ・バレエ・演劇の3つの研修所を擁し、充実した研修を実施しております。

新国立劇場は、日本を代表する国立の劇場として、お客様と感動を共にする高い水準の現代舞台芸術の創造、振興および普及に取り組み、社会に豊かな潤いをもたらす存在でありたいと考えております。今後ともお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※平成30年度実績に基づき



公益財団法人
新国立劇場運営財団
理事長
尾崎元規

CONTENTS

- ごあいさつ
- 2 目的・事業／沿革
- 3 総合舞台芸術の最高の発信拠点として
- 4 オペラ
- 6 バレエ&ダンス
- 8 演劇
- 10 新国立劇場合唱団
- 11 新国立劇場バレエ団
- 12 全国公演
- 13 海外公演・国際共同制作
- 14 教育普及
- 15 イベント、講演会、上映会、展示
- 16 お客様へのサービス
- 17 ご支援について
- 18 情報センター／舞台美術センター
- 19 劇場施設の貸し出し／国際交流
- 20 研修事業
- 22 オペラパレス
- 24 中劇場
- 26 小劇場
- 28 オペラ 主催公演上演記録
- 30 バレエ／ダンス 主催公演上演記録
- 32 演劇 主催公演上演記録
- 34 フロアガイド
- 36 運営組織
- チケット購入のご案内／青少年のための優待メンバーズ
友の会のご案内／賛助会員のご案内
アクセス／建物概要

目的・事業

PURPOSE AND FUNCTIONS

新国立劇場は、わが国の舞台芸術振興の拠点として、次の事業を行います。

1. 芸術的に高い水準の舞台を企画・制作し、公演します。
2. 各年代、各層にわたる数多くの人々に広く現代舞台芸術に親しめる機会を提供します。
3. 次代を担う実演家等、現代舞台芸術に係る人材を育成するため研修を行います。
4. 全国の劇場・芸術団体との幅広い協力関係をもちつつ、全国公演の実施や共同制作・招聘公演及び劇場の提供等を行います。
5. 世界各国の舞台芸術活動との相互交流を推進します。
6. 世界ならびに我が国の現代舞台芸術に関する調査研究及び講演・展示を行うとともに、関係資料の収集と公開を推進します。

歴代会長

- 石川六郎 [1993.4月～1999.3月]
- 今井 敬 [1999.4月～2002.6月]
- 奥田 碩 [2002.7月～2006.6月]
- 御手洗富士夫 [2006.7月～2010.6月]
- 米倉弘昌 [2010.7月～2014.6月]
- 榊原定征 [2014.7月～2018.6月]
- 中西宏明 [2018.7月～2021.6月]
- 十倉雅和 [2021.7月～]

歴代理事長

- 木田 宏 [1993.4月～1999.6月]
- 樋口廣太郎 [1999.7月～2003.3月]
- 三角哲生 [2003.4月～2005.3月]
- 遠山敦子 [2005.4月～2011.3月]
- 福地茂雄 [2011.4月～2014.6月]
- 尾崎元規 [2014.6月～]

沿革

BRIEF HISTORY

1966 (昭和41) 4月	衆議院文教委員会において国立劇場法案可決の際「伝統芸能以外の芸能の振興を図るため、施設その他につき、必要な措置を講ずべきこと」が附帯決議される。
1972 (昭和47) 12月	文化庁に「第二国立劇場設立準備協議会」が設置された。
1976 (昭和51) 5月	第二国立劇場設立準備協議会が事業専門委員会策定の基本構想案を承認した。
1980 (昭和55) 5月	国有財産中央審議会で、東京工業試験所跡地（東京・渋谷区本町）を第二国立劇場用地として利用することを答申した。
1981 (昭和56) 6月	第二国立劇場設立準備協議会において専門委員会策定の第二国立劇場設置構想概要及び建築規模を文化庁長官に報告。
1986 (昭和61) 5月	第二国立劇場建築設計競技の結果、228応募数（うち外国22カ国60作品）のなかで柳澤孝彦氏の設計プランに決定した。
1989 (平成元) 3月	国立劇場法の一部改正により、特殊法人国立劇場が第二国立劇場（仮称）の設置者となる。
1990 (平成2) 3月	国立劇場法の一部改正により、特殊法人国立劇場は、特殊法人日本芸術文化振興会となる。
1992 (平成4) 2月	都市計画決定が告示され、初台・淀橋橋区が特定街区となる。これにより、一体開発で未使用の容積を隣接する東京オペラシティが利用できることとなり、一体的文化ゾーンが確保された。
8月	第二国立劇場（仮称）の建設工事が着工。
1993 (平成5) 4月	財団法人第二国立劇場運営財団の設立が許可された。
1994 (平成6) 7月	特殊法人日本芸術文化振興会が第二国立劇場運営財団へ公演準備等業務を委託。（以降、現在に至る）
1995 (平成7) 4月	第二国立劇場（仮称）は、「新国立劇場」と正式決定され、各劇場はオペラ劇場、中劇場、小劇場と決定。
9月	財団法人第二国立劇場運営財団は、「財団法人新国立劇場運営財団」に名称を変更。
1997 (平成9) 5月 26日	上原昌氏デザインによるシンボルマークが決定。新国立劇場竣工式。
6月	舞台美術センター（千葉・銚子市）が竣工。
10月 10日	新国立劇場開場記念公演として、オペラ『建・TAKERU』を上演。
1998 (平成10) 4月	新国立劇場オペラ研修所が開所する。
2001 (平成13) 4月	新国立劇場バレエ研修所が開所する。
2003 (平成15) 10月	特殊法人日本芸術文化振興会が独立行政法人に移行。
2005 (平成17) 4月	新国立劇場演劇研修所が開所する。
2007 (平成19) 3月	オペラ劇場の愛称が「オペラハウス」と決まる。
10月 1日	開場10周年記念式典を行う。
2012 (平成24) 4月	財団法人新国立劇場運営財団が公益財団法人に移行。
2018 (平成30) 1月 8日	開場20周年記念式典を行う。

総合舞台芸術の 最高の発信拠点として

わが国唯一の現代舞台芸術の国立劇場である新国立劇場は、1997年の開場以来、オペラ、舞踊（バレエ、ダンス）、演劇の3部門4ジャンルでさまざまな主催公演を自ら企画、制作し、上演してきました。

その公演は国内外で高い評価をいただいています。今後さらさら質の高い作品の上演を通して日本の文化力の高さを発信していきます。

芸術監督について

新国立劇場では毎年9月から翌年の7月までを1シーズンとし、3部門で約280回的主催公演を行っています。そして、このシーズン制とともに、3部門それぞれに芸術上の責任をもつ芸術監督を設けています。新国立劇場が主催する公演は、高い芸術性を創生しつつも国民の皆様からのご支援と共感を得なければなりません。この二つの難しい課題をともに果たすために、芸術監督は、担当分野の芸術面での最高責任者として、シーズンごとのラインアップの決定とひとつひとつの公演の芸術上の責任を負っています。

歴代芸術監督

- 〈オペラ〉
- 畑中良輔 [1993.4月～1999.6月]
- 五十嵐喜芳 [1999.7月～2003.9月]
- トーマス・ノヴォラツスキー [2003.10月～2007.8月]
- 若杉 弘 [2007.9月～2009.7月]
- 尾高忠明 [2010.9月～2014.8月]
- 飯守泰次郎 [2014.9月～2018.8月]
- 大野和士 [2018.9月～]
- 〈舞踊〉
- 島田 廣 [1993.4月～1999.6月]
- 牧 阿佐美 [1999.7月～2010.8月]
- デヴィッド・ビントレー [2010.9月～2014.8月]
- 大原永子 [2014.9月～2020.8月]
- 吉田 都 [2020.9月～]
- 〈演劇〉
- 藤田 洋 [1993.4月～1996.3月]
- 渡邊浩子 [1996.4月～1998.6月]
- 栗山民也 [2000.7月～2007.8月]
- 鶴山 仁 [2007.9月～2010.8月]
- 宮田慶子 [2010.9月～2018.8月]
- 小川絵梨子 [2018.9月～]

OPERA

BALLET

DANCE

DRAMA



オペラ芸術監督
大野和士

オペラがイタリアで初めて生まれたのは1600年。奇しくも、わが国で歌舞伎が誕生した時とほぼ一致します。その時から、この異なる二つの舞台芸術は、歌、踊り、管弦楽、舞台装置、衣裳などそれぞれの分野の発展というテーマを共にしながら、人類の生み出した最も多彩な芸術、アミューズメントとして歴史に名を刻んできました。

いわゆる‘かぶき者’が、日常性から飛躍した華やかさや色気をふりまく役者として歌い演じ、それに観客が熱狂する様子は、ロベルト・アラニーヤ、ヨナス・カウフマン、クラウス・フローリアン・フォークト、アンナ・ネトレブコ、エリナ・ガランチャなどの今日のスター歌手に酔いしれるオペラの聴衆の世界に通じます。

また、その時々々の社会状況によって、『忠臣蔵』の登場人物を、実在した大石内蔵助から大星由良助、吉良義央を高師直、浅野長矩を塩治判官などに改めなければならなかったのは、時の検閲の弾圧によって、ヴェルディ作曲『リゴレット』で、実在するフランス王フランソワ1世がマントヴァ公と

いう名前に変更され、『仮面舞踏会』のスウェーデン王グスタフ3世がボストン総督リッカルドとなり、暗殺者アンカーストrem伯爵が総督秘書レナートとされるなどという運命に出くわしたのと同じです。

舞台装置で言うならば、セリ舞台、回り舞台、幕引きによる演出なども、両者に共通のものであり、舞台ドラマとして聴衆の心を鷲掴みにするための仕掛けもまた、時間をかけて育てあげられました。

新国立劇場は、日本の伝統芸能の振興・普及を担う国立劇場と共に、それぞれのジャンルが背負ってきた同じような歴史故に、日本舞台芸術の未来を牽引する両輪としてこれからも発展し続けていくことでしょう。

特に新国立劇場オペラ部門に於いては、ヨーロッパで生まれた古典的名作から、私たちの時代に生まれ、これからの私たちの生存意義を問う新しい作品まで幅広く提供し、それらを、日本発のメッセージとして世界に発信していきたいと思っております。

日本で初めてのオペラ・バレエ専用のオペラ劇場を有する新国立劇場は、上演されるオペラ作品も開場以来、高い評価を受け、それまで敷居が高いといわれてきたオペラの世界を身近なものにし、オペラファン層の拡大におおいに寄与してきました。

上演作品には、スタンダードな名作をはじめ、現代オペラまで多彩な作品を選び、レパートリーとして蓄積しています。日本人作曲家によるオペラ作品の上演も新国立劇場の重要な使命のひとつで、優れた邦人作曲家に依頼する創作委嘱作品の上演にも意欲的に取り組み、高い成果を挙げています。

オペラの視覚要素を担う演出家やデザイナーには、国際的、今日的な視点で作品に最もふさわしい人材を招き、世界水準のプロダクションを次々に創造しています。指揮者や主要な出演者も世界の歌劇場で活躍するアーティストを招聘、国内のアーティストと共に作品に新たな息吹を吹き込み、客席を沸かせています。

近年では、2019年に上演した創作委嘱作品『紫苑物語』は新国立劇場から世界に発信した新作オペラとして国内外で高い評価を得ました。また同年の『トゥーランドット』など世界的な話題となるプロダクションを上演し、新国立劇場の国際的なステータスを確立しています。

完成度の高いオペラを上演するためには、質の高い合唱が一つの重要な要素となります。新国立劇場では、劇場で行われる数多くのオペラ公演の核となる合唱団を結成し、公演を支える体制をとっています。公募され、厳正な審査によって選ばれる合唱団員は、高水準の歌唱力と優れた演技力を有し、国内外の音楽関係者から賞賛を浴びています。

また、新国立劇場のオペラ公演には、ソリストの役柄にカバー歌手がキャスティングされています。いかなるアクシデントにも対応できるよう、稽古から本番まで本役歌手の控えとしてスタンバイし、実際、舞台上に立ったカバー歌手たちは見事にその責務を果たしています。

さらに、毎年「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を行うなど、オペラ観客層の裾野を広げる取り組みも積極的に行っています。

今後も広く多くの人々がオペラと出会い、人生に新たな喜びを感じられるような、上質で創造的な舞台をお届けいたします。

OPERA



オペラ

上:『フィガロの結婚』
中:『蝶々夫人』
下:『ローエングリン』

左:『アイダ』

OPERA





舞踊芸術監督
吉田 都

新国立劇場バレエ団は1997年の発足以来、目覚ましい発展を遂げてきました。レパートリーは19世紀の古典作品から、20世紀の名作、現代の振付家の作品まで多岐にわたります。このような発展を遂げられたのも、歴代の芸術監督の強い信念と、ダンサーたちの鍛錬の賜物であり、芸術監督としての私の使命は、それらをしっかりと受け継ぎつつ、私自身が海外で学んだ経験も生かし、バレエ団をさらなる飛躍に導くことであると考えています。

上演する演目は、バレエ団のレベル維持に欠かせない古典を中心としながらも、優れた現代作品をバランスよく取り入れ、ダンサーたちの様々な面を楽しんでいただける幅広いラインアップを目指します。同時に、劇場の財産となるような新たな作品づくりにも挑んでまいります。バレエ団では、ダンサーたちの振付家としての才能を発掘し、育成するプロジェクトを実施しています

が、将来的にはその中から生まれた作品も、積極的にラインアップに取り入れていく所存です。

一方で、継続して質の高い舞台をつくっていくためには、ダンサーたちの働く環境の整備が重要です。国立のカンパニーとは言え、新国立劇場バレエ団のダンサーたちを取り巻く状況には、まだまだ改善の余地があります。彼らが自らの職業に誇りを持ち、仕事に集中できる環境を整えることも、劇場の果たすべき大切な役割のひとつであると考えています。

その他、教育普及プログラムやチャリティ公演の実施等、バレエを通じた社会貢献活動の充実も視野に入れつつ、日本で唯一、国立の劇場に所属するバレエ団としてふさわしいカンパニーを目指します。ひとりでも多くの方に劇場に足を運んでいただき、バレエの魅力に触れていただけるよう尽力してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

常設のオーケストラピットと四面舞台を擁するオペラパレスは、華やかなグランド・バレエの拠点となりました。新国立劇場のバレエ作品は開場と同時に発足した新国立劇場バレエ団によって踊られ、高水準の舞台でバレエファンを魅了しています。

バレエ団のレパートリーは、スタンダードな古典作品から現代の最新作まで年々充実しています。また、言葉を必要としないバレエは、小さなお子様を含めあらゆる年齢層の方にご覧いただいています。『くるみ割り人形』『シンデレラ』などご家族で鑑賞いただける作品を用意するほか、初めてバレエを見るお子様にも無

BALLET & DANCE



バレエ・ダンス

理なく親しんでいただける「こどものためのバレエ劇場」は東京のみならず全国で上演され、バレエの普及に貢献しています。

ダンスでは、様々なテーマをより自由な身体や幅広い表現方法により、公演毎に独自の世界を生み出しています。中劇場、小劇場の舞台機構を駆使し、音楽、衣裳、美術、映像など、現代アートを中心としたアーティストとダンサーのコラボレーションから生まれる最先端の舞台に触れるまたとない機会を提供しています。

BALLET & DANCE



左：『白鳥の湖』

上：『シンデレラ』
中：『アラジン』
下：ダンス公演『サーカス』



演劇芸術監督
小川絵梨子

新国立劇場の演劇芸術監督を務めさせて頂くにあたり、劇場の指針としての三つの柱を考え、進めてまいります。

一つ目は、幅広い観客層に演劇をお届けすること。現代演劇の上演を目的とした国内唯一の国立劇場として、一人でも多くの方に舞台と出会って頂きたいと思っています。斬新な新作から古典作品まで幅広い作品の上演に加え、子供と大人が楽しめる企画作品や日本各地へのツアー公演なども旺盛に行っていきたいと思っております。

二つ目は、演劇システムの実験と開拓。すべての配役をオーディションで行うフルオーディションや、「こつこつプロジェクト」と銘打つディベロップメントを行います。作り手が作品そのものと純粋に向き合い、作品にとって必要な俳優と出会うことは、舞台づくりに最も重要なことの一つだと考えます。また、長いスパンでの創造の過程を経ることで、作り手の理解と想像力を培い、多くの観客の方に舞台の豊かさを伝えらえる公演を目指します。

三つ目は、横の繋がり。国内外を問わず、作り手の方々との交流や連携を積極的に行っていきたい

と思います。国や立場は違えど、同じ演劇という世界に住む方々と交流を通して共に学び合い、演劇の発展と社会における有用性を高めることを目指します。

演劇部門では、毎年、主に中劇場と小劇場において舞台作りを行っています。

中劇場は、舞台面の広さやセリなど、ダイナミックな舞台機構を生かし、シェイクスピア作品など大きな世界観をもった名舞台を生んで参りました。また、小劇場では、俳優の息づかいが伝わるほどの緻密な心理劇や会話劇などの人間ドラマが作られています。これからも劇場を生かした作品作りを目指してまいります。

演劇は時代を映す鏡と言う一方、ある時間ある場所に俳優やスタッフがいて物語を語りそこに観客がいる、という形態自体は2000年前から変わっていません。演劇に携わる一人として、古いものを捨て去るのではなく発展させながら、新しい創造に挑戦していきたいと思っております。

舞台という豊かな世界を、一人でも多くの皆様に楽しんでいただければ幸いです。

DRAMA



左：「タージマハルの衛兵」

「芝居とは、自然にたいして鏡をかかげ、時代の様相をうつしだす」とは、かのハムレットの台詞。明治以降、近代劇と呼ばれる新たな演劇の扉が開かれて100年以上の時間が経ち、その間、演劇は時代とともに移り変わってきました。新国立劇場では芸術監督の意欲的な企画のもと、数々の作品を上演しています。既成の戯曲のみならず、劇作家に新作の書き下ろしを依頼する舞台も数多く、「いと世界」を見つめた多彩なラインアップが特徴です。

出演する俳優は現代演劇の範疇に限らず、伝統芸能やダンスの世界からも作品に適したキャスティングがなされているため、多彩な才能が集うプロデュース公演の醍醐味を堪能することができます。小川絵梨子芸術監督の企画により、新たな才能との出会いを促す、フルオーディションによるキャスティングも開始されました。また、「こつこつプロジェクト—ディベロップメント—」では長期的に作品を育てていくことが計画されています。

当劇場で初演し好評を博した舞台は、再演するとともに日本各地でも上演し、演劇の魅力を多くの方にお伝えしています。一方で、大きな成果を残してきた日韓共同制作や、才能ある世界の劇作家への新作委嘱、海外の演出家や俳優との共同作業など、演劇を通じた国際交流にも積極的に取り組んでいます。

新国立劇場の公演は今までに多くの価値ある賞を受賞。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞、朝日舞台芸術賞では、団体賞、グランプリをはじめ、演出家、スタッフ、出演者も新国立劇場公演における活躍を理由として多数受賞しています。

DRAMA



演劇



上：『ヘンリー五世』
中：『消えていくなら朝』
下：『オレスティア』





新国立劇場

合唱団

NEW
NATIONAL
THEATRE
CHORUS

オペラの舞台に欠かせない合唱団 内外から高い評価を得て 活動も幅広く

数々の魅力的なオペラ作品を上演する新国立劇場では、新国立劇場合唱団を発足させ、1998/1999シーズンのオペラ公演より活動を開始、新国立劇場オペラの長年にわたる歴史の一端を築いてきました。今日では新国立劇場のオペラ公演にとどまらず、外部のオペラ公演、音楽祭、オーケストラのコンサートなどのほか、積極的に全国の小・中学校へ出向いての「文化芸術による子供の育成事業」に出演、参加するなど、その活動も幅広くなり、レパートリーも年々増えています。

新国立劇場合唱団を構成するメンバーは、公募を行い、厳正な審査によって選ばれます。例年100名を超える団員が、合唱指揮者の指導のもと年間を通じて様々な舞台で活躍しています。個々のメンバーは高水準の歌唱力と優れた演技力を有しており、合唱団としての卓越したアンサンブル能力と豊かな声量は、共演する出演者、指揮者、演出家、スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ています。



上から
『エウゲニ・オネーギン』
『魔笛』
『椿姫』



新国立劇場

バレエ団

THE
NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

日本最高峰の バレエ団として

新国立劇場バレエ団は、新しい舞台芸術の拠点として開場した劇場とともに、島田廣初代芸術監督のもと、1997年に発足しました。レパートリーは古典をはじめ、アシュトン、バランシン、プティ、マクミランといった振付家による20世紀の名作から、エイフマン、ドゥアト、マーネン、サーブ、ビントレー、ウィールドンなどの現代振付家の作品まで多岐に渡ります。また、新国立劇場オリジナル作品のレパートリー化を図るなど、バレエ団としての独自色も打ち出しています。

2004年には当時の芸術監督牧阿佐美による改訂振付作品『ライモンダ』で、朝日舞台芸術賞を受賞。2008年には米国ケネディ・センターにおいて海外デビューを果たし、翌2009年にはモスクワ・ボリショイ劇場に招待され、牧阿佐美振付のオリジナル作品『椿姫』を上演し大きな成功を収めました。海外では、ソリスト陣とともに、特に美しいコールド・バレエが絶賛され、国際的にも高い関心と評価を得ました。

2010/2011シーズンには、2008年に新国立劇場バレエ団のために新作の全幕バレエ『アラジン』を振り付けた、現代英国を代表する振付家デヴィッド・ビントレーが芸術監督に就任。2011年には同じく彼の振付による全幕バレエ『パゴダの王子』が世界初演されました。その後、バレエ団は2014年に芸術監督に就任した大原永子のもと、古典やドラマチック・バレエ作品をこれまで以上に高い水準で上演し続けます。当バレエ団最大規模のプロダクションとなるウィールドン振付『不思議の国のアリス』の国際共同制作による上演のほか、数々の新制作も成功を収めました。

そして2020/2021シーズンからは、英国で長年プリンシパル・ダンサーとして活躍してきた吉田都を芸術監督に迎え、新国立劇場バレエ団はさらなる進歩を目指します。



上から
『ドン・キホーテ』
『くるみ割り人形』
『眠れる森の美女』

全国公演

REGIONAL TOUR

新国立劇場制作の演目を全国各地へ

新国立劇場は、日本全国に現代舞台芸術の魅力を伝えていくことも重要な役割の一つと考えています。

そこで各地のニーズに応じて新国立劇場で制作・上演してきたオペラ、バレエ、ダンス、演劇の各ジャンルから選りすぐりの演目を、全国の劇場や文化施設で上演し、観客の皆様から、その芸術性に対して高い評価をいただいています。また、これにより、各地の劇場や芸術団体の方々との交流につとめています。



バレエワークショップ

バレエ

2017年『くるみ割り人形』(上田、大津)、2018年『白鳥の湖』(札幌)、2019年『アラジン』(富山)『くるみ割り人形』(札幌)などで各地を訪れています。秋には全国各地で「こどものためのバレエ劇場」の上演も行われ、その関連企画としてバレエダンサーによるワークショップを開催、未経験者の子どもたちがバレエにふれあう機会が設けられました。



『かもめ』

DRAMA

演劇

constants に全国での公演を重ねている演劇公演。2018年『赤道の下のマクベス』(西宮、豊橋、北九州)、『1984』(西宮、豊橋)、『夢の裂け目』(西宮)、『消えていくな朝』(西宮、豊橋、新宮町)、『スカイライト』(西宮)、2019年『かもめ』(西宮、豊橋)、『骨と十字架』(西宮)などが上演されました。



高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『蝶々夫人』

オペラ

地域の劇場と提携してオペラを上演、2018年には『トスカ』が大津で、2019年には『トゥーランドット』が大津、札幌で上演されました。「高校生のためのオペラ鑑賞教室」関西公演は2008年から尼崎、2016年からは京都で開催し、関西圏の高校生が本物のオペラに触れる貴重な機会と好評を得ています。また、新国立劇場合唱団は外部公演で内外のオーケストラとの共演や、全国の小、中学校等で公演を行い、迫力ある生の合唱を体験していただいています。



『NINJA』

ダンス

企画の段階から各地の劇場と共同制作を行った『空気のダンス』(富山、松本)『ZONE～陽炎稲妻 水の月』(新潟)は、大きな注目を集めました。近年では親子向け公演として森山開次『サーカス』(西宮)、『NINJA』(いわき、北上、水戸、大津、鳥取、北九州、松本)の上演が行われました。

DANCE

海外公演・国際共同制作

INTERNATIONAL TOURS & INTERNATIONAL CO-PRODUCTIONS

新国立劇場は、海外公演や海外の劇場との共同制作を通じ、世界への文化発信にも取り組んでいます。

海外公演

新国立劇場バレエ団の10年間の集大成として制作された『椿姫』が2009年にボリショイ劇場の招待を受けました。2013・2014年には、新国立劇場バレエ団ダンサーが英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団に招待され、バーミンガム・ヒポドローム劇場での『アラジン』『パゴダの王子』にゲスト出演。ダンスでは、「2010年トルコにおける日本年」の事業の一環として、森山開次『弱法師 花想観』および平山素子『春の祭典』が第17回イスタンブール国際演劇祭に招聘されました。

バレエ研修所もこれまで海外のフェスティバルに度々招聘され、2018年にはモスクワのボリショイ劇場と国立クレムリン宮殿にて開催されたA.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー創立280周年記念ガラ・コンサートで牧阿佐美振付の『シンフォニエッタ』を上演しました。

国際共同制作・協力公演

オペラでは海外の歌劇場との共同制作を進め、『ヴォツェック』は2008年にミュンヘンのバイエルン州立歌劇場での初演後、翌年新国立劇場で上演し、効果的な制作方法として成果を上げました。2012年には国家大劇院(中国・北京)と共同で『アイター』(コンサート形式)を東京と北京で上演。またモンテカルロ歌劇場との共同制作『ルチア』は、2017年に新国立劇場で初演後、2019年のモナコ建国記念日にモンテカルロ歌劇場で上演されました。ザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場及び東京文化会館との共同制作『ニュルンベルクのマイスタージnger』は、2019年にザルツブルクで初演され、ドレスデン初演を経て、2021年に東京での上演を検討しています。

バレエでは、2018年にオーストラリア・バレエとの共同制作により『不思議の国のアリス』をアジアのバレエ団として初めて上演しました。

演劇では、特筆すべき実績として日韓、日中の俳優が共演する共同制作公演への取り組みが挙げられます。中でも『焼肉ドラゴン』は、新国立劇場と韓国の芸術の殿堂において2008年と2011年に上演され演劇賞を多数受賞。日韓共同制作の取り組みは2013年にも『アジア温泉』で実現しました。また演劇研修第14期生は、2019年日英演劇アカデミー国際交流公演『怪物/The Monster』をマンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校生とともに上演し、大きな話題となりました。



上からバレエ研修所『シンフォニエッタ』ロシア公演/『弱法師 花想観』トルコ公演 『ルチア』新国立劇場公演/『焼肉ドラゴン』韓国公演



教育普及

PERFORMANCES FOR THE YOUTH

青少年のための公演 次代の観客を育てるために

新国立劇場では、次の世代を担う青少年に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、毎年普及公演事業を実施しています。若い世代に芸術鑑賞の楽しさと感動の道を開く意義ある事業と高く評価されています。



高校生のためのオペラ鑑賞教室

“初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい”という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じ全幕プロダクションを、字幕付き原語上演で、世界レベルの歌手達が出演し、生のオーケストラ演奏により上演しています。1998年より毎年7月に開催。2008年からは関西公演も行われています。



こどものためのオペラ／バレエ劇場

2004年より小学生を主な対象とした「こどものためのオペラ劇場」を上演しました。誰もが楽しみながら理解できるよう、日本語の台詞と歌詞でわかりやすく構成し、もととなるオペラ作品から編曲した美しい音楽と、工夫をこらした楽しい演出で展開するオリジナル作品です。好奇心と感性に溢れた子どもたちが音楽とドラマが融合した舞台芸術の素晴らしさを体験しました。2009年からは「こどものためのバレエ劇場」を開始し、子どもたちにバレエの楽しさと感動を伝えています。



中学生のためのバレエ

2008年から2010年の3年間、「中学生のためのバレエ」を実施しました。多くの中学生が、高い芸術性を持った本物の舞台に触れる機会を持ちました。参加した中学生からは感動に満ちた感想が寄せられ、初めてのバレエ観劇が印象深く意義あるものとなりました。



写真上段左より 高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』／『夕鶴』
中段左より 高校生のためのオペラ鑑賞教室『愛の妙薬』／こどものためのバレエ劇場『しらゆき姫』
下段左より こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』／『白鳥の湖』

イベント、講演会、 上映会、展示

TALK EVENTS, LECTURES, SCREENING AND EXHIBITION

作品をより深く お楽しみいただけるように

公演を多角的にお楽しみいただくために、上演にあわせてさまざまな催しを行っています。

《トークイベント》

○新制作オペラ公演を中心に、上演作品の魅力伝えるイベントを開催。指揮者、演出家等の専門家による作品の制作経緯、音楽的側面、演出意図などの説明や、カバー歌手による聴きどころの演奏が行われます。
○演劇公演では出演者や演出家が登壇する「シアタートーク」を開催。開催日以外にご観劇の方も、該当作品のチケットを提示することでご参加いただけます。

その他、公演関係者によるトークイベントを公演期間前や終演後などに開催しています。

《握手会》

クリスマスシーズン等にはバレエ公演終演後、主演ダンサーによる握手会を開催しています。

《クラスレッスン見学会》

バレエダンサーたちが本番に備えて舞台上で行うクラスレッスンの見学会を実施しています(不定期開催)。

《講座、ワークショップ》

公演をより深く理解していただくために、リーディング公演や、研究者・演出家・翻訳家による講座、トークセッション、ワークショップなど、多彩なプログラムを実施しています。

《バックステージツアー》

公演終了後、当日ご来場のお客様の中から抽選で舞台裏を見学できるバックステージツアーを不定期で開催しています。

《上映会》

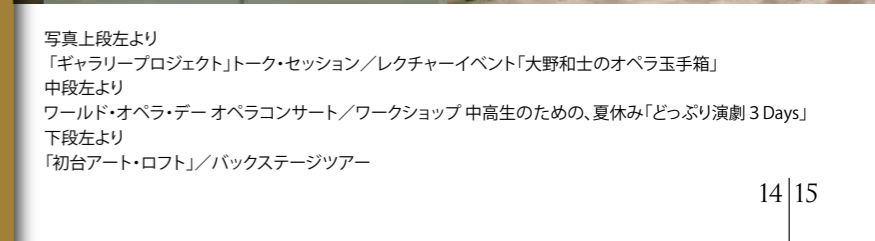
新国立劇場5階の情報センター内ビデオシアター、千葉県銚子市の舞台美術センター資料館で過去の新国立劇場主催公演の記録映像上映会を行っています。

《展示》

○各公演のホワイエやロビーで作品にまつわる展示を行っています。
○ロームシアター京都で開催されている「オペラの扉」など、外部で開催される展示企画にも積極的に協力しています。

《初台アート・ロフト》

○劇場のオープンスペースで、衣裳・大道具・小道具などの常設展や、特別展、またワークショップ・講座、ミニコンサートなど、観劇だけではない劇場をお楽しみいただけます。



写真上段左より 「ギャラリープロジェクト」トーク・セッション／レクチャーイベント「大野和士のオペラ玉手箱」
中段左より ワールド・オペラ・デー オペラコンサート／ワークショップ 中高生のための、夏休み「どつぶり演劇3 Days」
下段左より 「初台アート・ロフト」／バックステージツアー

お客様へのサービス

SERVICES

劇場の非日常空間を存分に味わっていただくために

質の高い作品をお届けするだけでなく、お客様に快適な環境で観劇をお楽しみいただくことも劇場の大きな役割です。特別な時間を過ごしていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。



「シアターショップ」



キッズルーム「ドレミ」



クリスマスシーズンの
ロビーの様子

OPERA PALACE Tokyo



NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

ご支援について

FINANCIAL SUPPORT FROM THE PRIVATE SECTOR



皆様のご支援に支えられて

上質な舞台を創造するには、国内外の第一線で活躍するさまざまな芸術家が集まり、芸術的なエネルギーと才能が有機的にぶつかり合う空間と時間が必要ですが、もうひとつ重要なのはこれを実現するための資金です。

国立の劇場である以上、財政面の基本を国が支えるのは言うまでもありませんが、より充実した公演活動、研修事業などを行うためには、民間の皆様からの深いご理解と財政面のご支援をいただくことが欠かせません。

新国立劇場では賛助会員制度を設け、広く寄附金募集を行うとともに、劇場のパートナーとして主催公演を支えていただく特別支援企業など、さまざまな協賛を募っています。

また、インターネットを活用した小口の寄附をはじめ、広く多くの方々に劇場への関心を深めていただく活動を行っています。

クローク

各劇場専用のクロークでコートや手荷物をお預かりします。

buffet

各劇場ロビー（ロビー）のbuffetでは軽食やお飲み物をご用意しております。

レストラン

劇場3階（オペラ劇場客席2階直通）にレストラン「マエストロ」がございます。公演前後に本格イタリアンをお楽しみいただけます。

ショップ

1階メインエントランス横のショップでは国内外の珍しい音楽雑貨を幅広く取り扱っています。各劇場ショップでは劇場関連のグッズや舞台写真等を販売しております。

レンタル

オペラバレエ公演を中心に、キッズクッション、オペラグラスの貸し出しを行っています。

託児サービス

新国立劇場主催公演および一部の貸劇場公演では、託児サービスをご利用いただける日を設けています。

救護室

公演中、救護室に看護師が待機しております。ご気分がすぐれない方は、お近くのスタッフまでお声掛けください。

バリアフリー

劇場内各所にはスロープ、段差解消機、エレベーターを備えております。

○車椅子スペース

各劇場客席に車椅子用のスペースがあります。主催公演については、車椅子スペースを利用する公演の最低料金（Z席を除く）にてご観劇いただけます。

○お手洗い

各劇場および5階情報センター前、地下1階駐車場に車椅子対応トイレがございます。5階情報センター前と地下1階駐車場の車椅子対応トイレにはオストメイト用設備が設置されています。

○補助犬を伴っての観劇

補助犬のご同伴は支障ありません。

○筆談器具

ボックスオフィス、各劇場インフォメーション、5階情報センター受付に筆談器具を用意しております。

※新型コロナウイルス感染予防、拡散防止のため、一部休止しているサービスがございます。(2021年7月現在)

ご寄附

- 賛助会員へのご入会（個人賛助会員、法人賛助会員）
- インターネットによる小口寄附

ご協賛

● 特別支援企業グループ
シーズンを通し新国立劇場主催の全公演を支えていただく最高位のスポンサーシップ

● シリーズ協賛

シーズンを通し特定のジャンル（オペラ・バレエ・ダンス・演劇）の公演に対して、ご協賛いただくスポンサーシップ

- 個別公演、研修事業（オペラ・バレエ・演劇）、イベントなどへの各種ご協賛・ご協力



劇場メインエントランスに設置された賛助会員、協賛企業の顕名板



メインエントランス・フラッグ

情報センター

INFORMATION CENTRE

情報センターは、現代舞台芸術に関するさまざまな情報、資料を収集・保存し、これらを広く一般に公開しています。

新国立劇場5階の閲覧室では、現代舞台芸術に関する図書、楽譜、公演プログラム、上演台本等、約7万点の所蔵資料が閲覧でき、併設するビデオブース、ビデオシアターでは、新国立劇場主催公演約500作品や他劇場の公演等の映像資料を視聴することができます。

また、「初台アート・ロフト」を通じ舞台芸術に関する講座、イベント、鑑賞会等の開催、2・3階ギャラリーでの舞台衣裳の展示やその他企画展示も随時行っています。

そのほか、オペラ、舞踊、演劇の資料集の刊行、劇場ウェブサイトを通じて劇場・公演に関するさまざまなコンテンツの発信なども行っています。



閲覧室



ビデオシアター



閲覧室での講座

舞台美術センター 資料館

STAGE SET & DESIGN CENTRE

舞台美術センターは、新国立劇場で行われた主催公演作品の舞台美術(大道具、衣裳等)の保守・管理及びレパートリーシステムの定着を目的として建設され、大道具・小道具の制作や修繕を行う美術工作棟が併設されています。

敷地内にある資料館では、常設展・企画展を開催し、主催公演の舞台模型や衣裳・小道具等をはじめ、美術的価値の高い舞台美術作品や舞台芸術に関する内外の資料を展示しています。

所在地:千葉県銚子市豊里台一丁目1044番地



舞台美術センター



舞台美術センター コンサート



資料館・展示

劇場施設の貸し出し

THEATRE RENTAL TO PERFORMING ARTS GROUPS

新国立劇場では、現代舞台芸術の振興及び普及を目的とする事業の利用に供するため、主催公演等で使用する期間を除いた日程について、オペラパレス・中劇場・小劇場の貸出をしています。四面舞台を備えたオペラパレスと中劇場、そして多様な舞台形状で上演が可能な小劇場と、さまざまな規模の作品の上演に対応した各劇場は使用の要望が高く、主としてオペラ、バレエ、ダンス、演劇、ミュージカルまたはこれらに準ずる現代舞台芸術に使用され、これまでに数多くの注目作品が上演されてきました。



国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

新国立劇場は、海外の舞台芸術関係者と活発に交流し、視察の受け入れや意見交換を行っています。近年はアジア圏での盛んな劇場建設計画に伴い、中国や韓国、シンガポールといった近隣アジア諸国からの劇場関係者も数多く訪れています。

また年に数回、オペラ・バレエ公演に各国の駐日特命全権大使ならびに大使館・文化機関の関係者を招待する大使鑑賞プログラムを実施するなど、在日・訪日外国人の皆様に対して新国立劇場を広く知っていただくための活動も行っています。

さらに英語ウェブサイトや英語パンフレットで公演情報を発信し、海外からでもオンラインでチケットを購入できる環境をご用意しています。2019/2020シーズンより全てのオペラ公演で英語字幕を表示しています。



コンスタンティン・カキユシス駐日ギリシャ大使夫妻、『椿姫』ヴィオレッタ役ミルト・バリバタナシュ(写真中央)
(2019年11月当時)

研修事業

YOUNG ARTISTS
TRAINING PROGRAMME

次代を担うアーティスト育成は
新国立劇場の事業の大きな
柱の一つです。

1998年にオペラ研修所開所から始まった研修事業は、2001年にバレエ研修所、2005年に演劇研修所が開所し、次代を担うオペラ歌手、バレエダンサー、俳優のための研修が全日制で行われています。最高水準の指導陣による専門技術教育、幅広い知識・教養の習得に加え、舞台実習など、劇場附属の研修所ならではの充実したカリキュラムで優秀な若手人材の育成に努めています。

オペラ・バレエ研修生への ANAスカラシップ



2016年4月に、全日本空輸株式会社と新国立劇場によって若手オペラ歌手支援のための制度「ANAスカラシップ」が創設され、在所中に2回の海外研修を実施。研修生が本場のオペラを学ぶと同時に、欧州のアカデミーとの一層の交流・連携が可能となりました。また、2018年4月からは制度を拡充し、新国立劇場若手バレエダンサー支援のための「ANAスカラシップ」を開始。最上級生がロシアでの海外研修を行い、本場のバレエを学ぶ貴重な機会を得ました。

ANAによる 演劇研修生への国内研修事業支援

2019年4月からは、演劇研修生のための「若手俳優育成のための国内研修事業支援」を開始。広島あるいは沖縄をテーマにした朗読劇に向けての事前現地研修や、地方の劇場でのワークショップなどの研修が可能となりました。



2018年度 オペラ研修所修了公演『ドン・ジョヴァンニ』



バレエ・アステラス 2019より「ワルツ」



2019年度 演劇研修所修了公演『社会の柱』

OPERA STUDIO

オペラ研修所



所長
永井和子

グローバル・スタンダードの 研修システム

オペラ研修所は、国際的に活躍できるプロのオペラ歌手を育成する研修機関です。永井和子所長のもと、広い知識と豊かな経験をもつ国内外の一流講師陣により、常に世界水準のレッスンが行われています。カリキュラムはオペラ歌手に必要な教養を習得するため、発声法や演技などの指導から、作品の理解と歌唱に必要な諸外国語の講義まで多岐にわたります。また、2年次、3年次には「ANAスカラシップ」により、オペラの本場での海外研修を行っています。修了生はすでに、新国立劇場への出演はもちろん、海外歌劇場へのデビューを果たし、国内外のオペラ・カンパニーなどで広く活躍しています。



BALLET SCHOOL

バレエ研修所



所長
牧 阿佐美

世界に通じる ダンサーを育成

バレエ研修所では、プロのダンサーとして必要な技術や、幅広い知識や教養を身に付けるため、クラシカル・バレエ、キャラクター・ダンス、コンテンポラリー・ダンス、演劇基礎研修、歌唱などの実技クラス、「バレエと音楽」「バレエ史」「身体解剖学」「マナー」「ノーティション」「美術史」や、さまざまな分野の芸術家と交流する「サロン」など多岐にわたるカリキュラムを組んでいます。また、舞台実習として新国立劇場バレエ団の公演に参加するほか、最終年次には「ANAスカラシップ」による海外研修を行います。海外でのバレエ学校フェスティバルにも度々招かれ、各国バレエ学校との交流を深めています。修了生は、新国立劇場バレエ団をはじめ、国内外のバレエ団で主要な役をつとめるなど、研修の成果を十二分に発揮して飛躍を遂げています。



DRAMA STUDIO

演劇研修所



所長
宮田慶子

次世代を担う 舞台俳優を目指して

演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強度のある身体をそなえた次代の演劇を担う舞台俳優の育成を目的としています。宮田慶子所長のもと、国内外で活躍している演出家や俳優教育の専門家と連携する講師陣によるヴォイス、ムーブメント、歌唱、アクティング、日本舞踊、ダンスなど俳優として必要な基礎的実技の訓練に加え、新国立劇場小劇場での朗読劇や試演会、修了公演など実践的なカリキュラムが段階的に組み立てられています。近年は、アウトリーチの活動にも力を入れるとともに、アジア、欧米の研修所との交流も実施するなど、国外へも視野を広げています。修了生は新国立劇場主催公演をはじめ数多くの日本の演劇および映像、声の仕事などの現場で活躍しています。





オペラパレスは、客席から見える主舞台のほかに、主舞台と同じスペースの舞台を奥と左右にも有する四面舞台のプロセニウム劇場です。オペラ・バレエ専用劇場としてヨーロッパの劇場建築で確立されてきたこの形式は、大がかりな舞台転換がおこなえるため、レパートリー作品の日替わり上演も可能です。常設のオーケストラピットはフル編成120人の演奏ができる広さを誇っています。

客席の壁・天井は厚いオーク材で仕上げられ、歌手の肉声が理想的に響く設計となっており、まるで劇場そのものが楽器のような空間です。また客席は中央に通路のない連続20席の配列で、舞台との一体感を実感できます。周囲を囲む三層のバルコニー席も“オペラパレス”の愛称にふさわしく、感動の拍手が劇場を包み込むようなつくりになっています。

そして、大きなガラス面と円柱がシンボルのホワイエは、開演前の高揚感、休憩時間の歓談、そして終演後の舞台の余韻にひたれる空間として、至福のひとつときを過ごすのにふさわしい雰囲気になっています。

オペラパレス

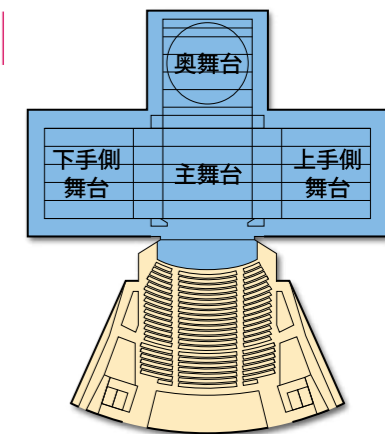
(オペラ劇場)

OPERA PALACE
Tokyo
オペラパレス

OPERA PALACE



オペラパレス 平面図



客席数:1,814席
1階/868席 2階/354席 3階/292席 4階/300席
(車椅子スペース8席含む)
残響時間:1.4~1.6秒(満席時)

舞台形状:四面舞台
プロセニウム開口 幅16.38m 高さ12.5m
ポータル開口 幅14.6m~18.8m 高さ0.5m~14.0m
主舞台:迫り 18.2m×3.64m×5枚
迫りの行程 +4.5m~-15.7m
高さ 舞台面からスノコまで30.5m
舞台面から奈落まで-15.7m
側舞台:トラッキングワゴン 18.2m×3.64m×上手・下手各5枚
奥舞台:スライディングステージ 18.2m×18.2m 盆直径 16.38m
オーケストラピット:広さ147㎡ 行程±0m~-2.65m
収容演奏者数 4管編成(120人程度)



ブラーヴォ
鳴りやまない拍手と“Bravo!”の声
世界に誇れる創造劇場空間で珠玉のオペラ、バレエを堪能する





プロセニウム形式

中劇場

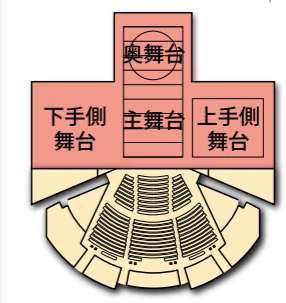
舞台を額縁のように仕切ったプロセニウム形式と、舞台面を客席前方まで迫り出したオープン形式というふたつの異なる舞台形式をもつ中劇場。現代舞台芸術の多様な演出に幅広く対応する柔軟な構造をもったこの劇場では、演劇やダンスをはじめとして、実にさまざまな舞台が上演されています。客席も舞台の形状によりそれぞれ変化しますので、観客は訪れるたびに新しい劇空間を楽しむことができます。

舞台はオペラ劇場と同じ四面舞台になっており、舞台前はその床機構によりオーケストラピットとしても活用できますので、オーケストラの入るオペラ、バレエの上演も可能です。

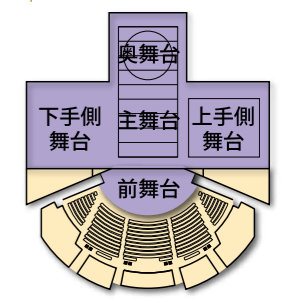
客席数は1列あたり最大24席、もっとも遠い2階席最後列からでも舞台まで25mという近さ。舞台と客席の一体感が臨場感を生む「表現の場」です。



中劇場
平面図



プロセニウム形式
Proscenium style



オープン形式
Open-apron style

客席数：プロセニウム形式 1,038席 1階/851席 2階/187席
 オープン形式 1,010席 1階/761席 2階/249席
 (各車椅子スペース8席含む)
 残響時間：1.0~1.3秒(満席時)

舞台形状：四面舞台
 プロセニウム開口 幅16.8m 高さ9m
 主舞台：迫り 14.58m×3.64m×2枚
 14.58m×7.27m×1枚
 迫りの行程 +4.5m~-15.7m
 高さ 舞台面からスノコまで21.3m
 舞台面から奈落まで-15.7m
 上手側舞台：スライディングステージ 14.58m×14.58m
 奥舞台：スライディングステージ 14.58m×14.58m 盆 直径12.74m
 前舞台：可変型 行程 +0.5m~-4.50m

PLAYHOUSE



プロセニウムとオープン形式のふたつの顔で
 多様な演劇スタイルを創造し、観客を魅了する



オープン形式



オープン形式





小劇場

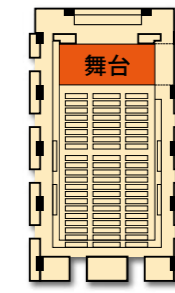
小劇場は、客席も含め劇場全体の床がすべて可動式になっており、この可動床を上下させることによって、演出プランに合わせて自由に劇空間を創造できるオープンスペースの劇場です。通常みられる「エンドステージ」や、舞台中央部をせり出した「スラストステージ」、舞台前後に客席を置いた「センターステージ」、さらには舞台の四方を客席が囲む「アリーナステージ」といった、さまざまな舞台形式に対応できます。まさに演出家の“演出ごころ”をくすぐる魅力的な空間といえるでしょう。

壁面にはバルコニーがあり、客席を設置して小劇場空間でも俯瞰した舞台を楽しむことができます。総客席数はその形状により468席まで増やせます。

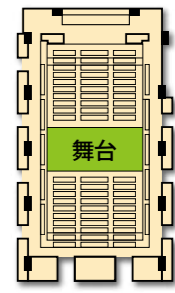


THE PIT

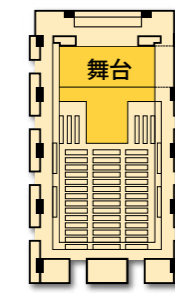
小劇場
平面図



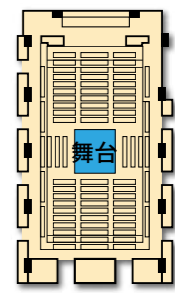
エンドステージ
End stage



センターステージ
Centre stage



スラストステージ
Thrust stage



アリーナステージ
Arena stage



客席数：最大468席
(舞台形状と奥行(3間~5間)による)
残響時間：0.8~1.0秒(満席時)

平面寸法：27.6m×16.6m 高さ10m
可動床：25.5m×12.7m
副舞台：8.7m×3.3m(迫り、道具搬入口設置)

舞台上の息づかいも感じられる、密な空間
変幻自在のステージプランに合わせて劇場自体も演出できる

エンドステージ

スラストステージ

センターステージ

アリーナステージ



OPERA

【オペラ】主催公演上演記録



『トスカ』



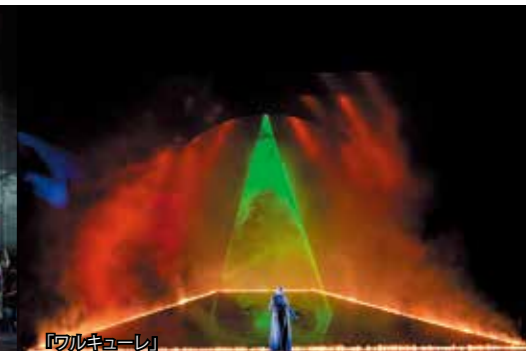
『こうもり』



『はらの騎士』



『紫苑物語』



『ワルキューレ』

〈開場記念公演〉

建・TAKERU
ローエングリン
アイーダ

〈1998/1999シーズン〉

蝶々夫人
魔笛
ナブッコ
アラベッラ
セビリアの理髪師
ヘンゼルとグレーテル
カルメン
天守物語
こうもり
罪と罰

〈1999/2000シーズン〉

仮面舞踏会
マノン・レスコー
蝶々夫人
ドン・ジョヴァンニ
セビリアの理髪師
沈黙
サロメ
ドン・キホット
リゴレット

〈2000/2001シーズン〉

トスカ
魔笛
エウゲニ・オネーギン
青ひげ公の城
夕鶴
イル・トロヴァトーレ
リゴレット
ニーベルングの指環 序夜
ラインの黄金
仮面舞踏会
蝶々夫人
マノン

〈2001/2002シーズン〉

トゥーランドット
ナブッコ
ドン・ジョヴァンニ
ドン・カルロ
ヘンゼルとグレーテル
忠臣蔵
ウェルテル
ニーベルングの指環 第1日
ワルキューレ
サロメ
トスカ
カルメン

〈2002/2003シーズン〉

椿姫
ルチア
セビリアの理髪師
イル・トロヴァトーレ
ナクソス島のアリアドネ
光
アラベッラ
ニーベルングの指環 第2日
ジークフリート
ラ・ボエーム
オテロ
アイーダ

〈2003/2004シーズン〉

フィガロの結婚
トスカ
ホフマン物語
鳴神／俊寛
スペインの燦き
—ラヴェル〜パレエとオペラによる—
サロメ
ニーベルングの指環 第3日
神々の黄昏
マクベス
ファルスタッフ
カルメン

〈2004/2005シーズン〉

カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師
ラ・ボエーム
エレクトラ
椿姫
マクベス
ルル
おさん—「心中天網島」より
コジ・ファン・トゥッテ
フィガロの結婚
フィデリオ
蝶々夫人

〈2005/2006シーズン〉

ニュルンベルクのマイスター・ジンガー
セビリアの理髪師
アンドレア・シェニエ
ホフマン物語
魔笛
コジ・ファン・トゥッテ
愛怨
運命の力
カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師
こうもり

〈2006/2007シーズン〉

ドン・カルロ
イドメネオ
フィデリオ
セビリアの理髪師
さまよえるオランダ人
運命の力
蝶々夫人
西部の娘
はらの騎士
ファルスタッフ

〈2007/2008シーズン〉

タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦
フィガロの結婚
カルメン
ラ・ボエーム
サロメ
黒船—夜明け
アイーダ
魔弾の射手
軍人たち
椿姫

〈2008/2009シーズン〉

トゥーランドット
リゴレット
ドン・ジョヴァンニ
蝶々夫人
こうもり
ニーベルングの指環 序夜
ラインの黄金
ニーベルングの指環 第1日
ワルキューレ
ムツェンスク郡のマクベス夫人
チェネレントラ
修禅寺物語

〈2009/2010シーズン〉

オテロ
魔笛
ヴォツェック
トスカ
ニーベルングの指環 第2日
ジークフリート
ニーベルングの指環 第3日
神々の黄昏
愛の妙薬
影のない女
カルメン
鹿鳴館

〈2010/2011シーズン〉

アラベッラ
フィガロの結婚
アンドレア・シェニエ
トリスタンとイゾルデ
夕鶴
椿姫
マノン・レスコー〈公演中止〉
はらの騎士
コジ・ファン・トゥッテ
蝶々夫人

〈2011/2012シーズン〉

イル・トロヴァトーレ
サロメ
ルサルカ
こうもり
ラ・ボエーム
沈黙
さまよえるオランダ人
オテロ
ドン・ジョヴァンニ
ローエングリン

〈2012/2013シーズン〉

ピーター・グライツ
トスカ
セビリアの理髪師
タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦
愛の妙薬
アイーダ
魔笛
ナブッコ
コジ・ファン・トゥッテ
夜叉ヶ池

〈2013/2014シーズン〉

リゴレット
フィガロの結婚
ホフマン物語
カルメン
蝶々夫人
死の都
ヴォツェック
カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師
アラベッラ
鹿鳴館

〈2014/2015シーズン〉

パルジファル
ドン・ジョヴァンニ
ドン・カルロ
さまよえるオランダ人
こうもり
マノン・レスコー
運命の力
椿姫
はらの騎士
沈黙

〈2015/2016シーズン〉

ニーベルングの指環 序夜
ラインの黄金
トスカ
ファルスタッフ
魔笛
イエヌーファ
サロメ
ウェルテル
アンドレア・シェニエ
ローエングリン
夕鶴

〈2016/2017シーズン〉

ニーベルングの指環 第1日
ワルキューレ
ラ・ボエーム
セビリアの理髪師
カルメン
蝶々夫人
ルチア
オテロ
フィガロの結婚
ニーベルングの指環 第2日
ジークフリート

〈2017/2018シーズン〉

ニーベルングの指環 第3日
神々の黄昏
椿姫
はらの騎士
こうもり
松風
ホフマン物語
愛の妙薬
アイーダ
フィデリオ
トスカ

〈2018/2019シーズン〉

魔笛
カルメン
ファルスタッフ
タンホイザー
紫苑物語
ウェルテル
フィレンツェの悲劇／ジャンニ・スキッキ
ドン・ジョヴァンニ
蝶々夫人
トゥーランドット

〈2019/2020シーズン〉

エウゲニ・オネーギン
ドン・パスクワレ
椿姫
ラ・ボエーム
セビリアの理髪師
コジ・ファン・トゥッテ〈公演中止〉
ジュリオ・チャーザレ〈公演中止〉
ホフマン物語〈公演中止〉
サロメ〈公演中止〉
ニュルンベルクのマイスター・ジンガー〈公演中止〉

〈2020/2021シーズン〉

夏の夜の夢
アルマゲドンの夢
こうもり
トスカ
フィガロの結婚
ニーベルングの指環 第1日
ワルキューレ
夜鳴きうぐいす／イオランタ
ルチア
ドン・カルロ
カルメン

【小劇場オペラ】

オルフェオとエウリディーチェ〈00〉
幸せな間違い〈00〉
アブ・ハッサン／オペラの稽古〈00〉
ねじの回転〈01〉
花言葉〈01〉
賢い女〈02〉
シャーロック・ホームズの事件簿・告白〈02〉
なりゆき泥棒〈02〉
無人島〈03〉
ドン・ジョヴァンニ〈03〉
イタリアのモーツァルト〈03〉
外套〈04〉
友人フリッツ〈04〉
ザザ〈05〉
セルセ〈06〉
フラ・ディアヴォロ〈07〉

【演奏会形式公演】

コンサート・オペラ
ベレアスとメリザンド〈08〉
コンサート・オペラ
ポツペアの戴冠〈09〉
コジ・ファン・トゥッテ
〈演奏会形式〉〈11〉
ドン・ジョヴァンニ
〈演奏会形式〉〈12〉
さまよえるオランダ人
〈演奏会形式〉〈15〉
「ジークフリート」
ハイライトコンサート
—邦人歌手による—〈17〉

【高校生のためのオペラ鑑賞教室】

蝶々夫人
〈98・99・00・05・07・11・14・15・17・19〉
トスカ〈01・02・03・09・18〉
カルメン〈04・10・21〉
カヴァレリア・ルスティカーナ〈06〉
椿姫〈08〉
ラ・ボエーム〈12〉
愛の妙薬〈13〉
夕鶴〈16・20公演中止〉

【高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演】

蝶々夫人〈08・09・10・15・17・19〉
愛の妙薬〈11・12〉
夕鶴〈13・14〉
フィガロの結婚〈16〉
魔笛〈18・20〉

【こどものためのオペラ劇場】

ジークフリートの冒険
指環をとりもどせ!
〈04・05・08・09〉
スペース・トゥーランドット〈06・07〉
パルジファルとふしぎな聖杯〈11〉

【文化庁芸術祭】

オペラ・ガラコンサート〈00〉
新国立劇場開場10周年記念
オペラ・バレエ ガラ公演〈07〉
メリーメリー・ウィドウ祝祭版
〜ちょっと陽気な未亡人〜〈09〉
尾高忠明指揮 新国立劇場合唱団が歌う
ベルジャザールの饗宴〈13〉

【国際交流公演】

日中国交正常化40周年記念 アイーダ
〈コンサート形式〉〈12〉

【ニューイヤー オペラパレス ガラ】

オペラ・バレエ ガラ公演〈08〉
オペラ・バレエ ガラ公演〈09〉
オペラ・バレエ ガラ公演〈10〉

【はじめてのオペラ】

カルメン
〜楽しいトークとハイライト上演〜〈07〉

【舞台芸術国際フェスティバル】

ねじの回転〈02〉

【特別公演】

Super Angels スーパーエンジェル
〈20公演中止〉

【地域招聘公演】

沈黙(ザ・カレッジ・オペラハウス)〈05〉
フィガロの結婚
(ひろしまオペラルネットワーク)〈06〉
ナクソス島のアリアドネ
(関西二期会)〈08〉
月を盗んだ話(札幌室内歌劇場)〈10〉
鳴砂(仙台オペラ協会)〈11〉
三文オペラ(びわ湖ホール)〈13〉
いのち(長崎県オペラ協会)〈15〉
ミカド(びわ湖ホール)〈17〉
竹取物語(びわ湖ホール)〈20公演中止〉



BALLET/DANCE

【バレエ/ダンス】主催公演上演記録

『パゴダの王子』

『こもり』

『ある女の子』

『CHROMA』

『ベートーヴェン・ソナタ』

【バレエ】

＜開場記念公演＞
眠れる森の美女
くるみ割り人形
梵鐘の聲～平家物語より

＜1998/1999シーズン＞
白鳥の湖
ジゼル
くるみ割り人形
ドン・キホーテ
トリプル・ビル
レ・シルフィード／踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ／ペトルーシュカ

＜1999/2000シーズン＞
白鳥の湖
シンデレラ
トリプル・ビル
ラ・バヤデールより「影の王国」／テーマとヴァリエーション／ペトルーシュカ
ドン・キホーテ
J-バレエ ～ダンス・クレアシオン～
悲劇のシンフォニー ～第3楽章／十二夜／舞姫
ラ・シルフィード／テーマとヴァリエーション

＜2000/2001シーズン＞
白鳥の湖
ラ・バヤデール
くるみ割り人形
シンデレラ
眠れる森の美女
トリプル・ビル
リラの園／ライモンダ第3幕 ほか

＜2001/2002シーズン＞
ロメオとジュリエット
シンデレラ
白鳥の湖
ミックス・プログラム
四つの最後の歌／ドゥエンデ／シンフォニー・イン・C ほか
ドン・キホーテ
ジゼル

＜2002/2003シーズン＞
こもり
J-バレエ～ダンス・クレアシオン～
String (s) piece／Nothing is Distinct／FEELING IS EVERYWHERE
くるみ割り人形
ラ・バヤデール
白鳥の湖
ラ・シルフィード／パキータ

＜2003/2004シーズン＞
THE CHIC
シンフォニー・イン・C／ジャルディ・タンカート ほか
マノン
シンデレラ
こもり
ロメオとジュリエット
眠れる森の美女

＜2004/2005シーズン＞
ライモンダ
くるみ割り人形
白鳥の湖
カルメン
眠れる森の美女
ドン・キホーテ

＜2005/2006シーズン＞
カルミナ・ブラーナ／ライモンダ～第1幕より「夢の場」
くるみ割り人形
白鳥の湖
ナチョ・ドゥアトの世界
こもり
ジゼル

＜2006/2007シーズン＞
ライモンダ
白鳥の湖
シンデレラ
眠れる森の美女
オルフェオとエウリディーチェ
コッペリア
ドン・キホーテ

＜2007/2008シーズン＞
椿姫
くるみ割り人形
カルメン
ラ・バヤデール
白鳥の湖

＜2008/2009シーズン＞
アラジン
シンデレラ
ライモンダ
Ballet the Chic
セレナーデ／空間の鳥／ボル・ヴォス・ムエロ／ブッシュ・カムズ・トゥ・ジョヴ
白鳥の湖
コッペリア

＜2009/2010シーズン＞
ドン・キホーテ
くるみ割り人形
白鳥の湖
アンナ・カレーニナ
カルミナ・ブラーナ／ガランドゥリーズ
椿姫

＜2010/2011シーズン＞
ペンギン・カフェ／シンフォニー・イン・C／火の鳥
シンデレラ
ラ・バヤデール
ダイナミック・ダンス〈公演中止〉
アラジン
ロメオとジュリエット

＜2011/2012シーズン＞
パゴダの王子
くるみ割り人形
こもり
アンナ・カレーニナ
白鳥の湖
マノン

＜2012/2013シーズン＞
シルヴィア
シンデレラ
ダイナミック・ダンス！
コンチェルト・パロッコ／テイク・ファイヴ／イン・ジ・アッパー・ルーム
ジゼル
ペンギン・カフェ 2013
E=mc²／ペンギン・カフェ ほか
ドン・キホーテ

＜2013/2014シーズン＞
バレエ・リュス ストラヴィンスキー・イブニング
火の鳥／アポロ／結婚
くるみ割り人形
白鳥の湖
暗やみから解き放たれて／大ファガ／シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメンツ
ファスター／カルミナ・ブラーナ
パゴダの王子

＜2014/2015シーズン＞
眠れる森の美女
シンデレラ
ラ・バヤデール
トリプル・ビル
ドゥエンデ／トロイ・ゲーム ほか
こもり
白鳥の湖

＜2015/2016シーズン＞
ホフマン物語
くるみ割り人形
ニューイヤー・バレエ
「ライモンダ」より第3幕 ほか
ラ・シルフィード／Men Y Men
ドン・キホーテ
アラジン

＜2016/2017シーズン＞
ロメオとジュリエット
シンデレラ
ヴァレンティン・バレエ
パド・ドゥ集 ほか
コッペリア
眠れる森の美女
ジゼル

＜2017/2018シーズン＞
くるみ割り人形
シンデレラ
ニューイヤー・バレエ
パド・カトル／チャイコフスキー・パド・ドゥ ほか
ホフマン物語
白鳥の湖
眠れる森の美女

＜2018/2019シーズン＞
不思議の国のアリス
くるみ割り人形
ニューイヤー・バレエ
レ・シルフィード／火の鳥／ペトルーシュカ
ラ・バヤデール
シンデレラ
アラジン

＜2019/2020シーズン＞
ロメオとジュリエット
くるみ割り人形
ニューイヤー・バレエ
セレナーデ／DGV ほか
マノン
ドン・キホーテ〈公演中止〉
不思議の国のアリス〈公演中止〉

＜2020/2021シーズン＞
ドン・キホーテ
くるみ割り人形
ニューイヤー・バレエ〈公演中止・ライブ配信実施〉
ペンギン・カフェ ほか
眠れる森の美女
コッペリア〈公演中止・ライブ配信実施〉
ライモンダ

【中学生のためのバレエ】
白鳥の湖〈08・09〉
椿姫〈10〉

【こどものためのバレエ劇場】
しらゆき姫〈09・10・14・17〉
シンデレラ〈12・15・18〉
白鳥の湖〈16・19〉
竜宮 りゅうぐう〈20〉

【文化庁芸術祭】
ジゼル～能とバレエによる～〈05〉
オペラ・バレエ ガラ公演〈07〉
バレエ・オープニング・ガラ〈11〉

【海外公演】
ライモンダ／ミックスプログラム
（米／ケネディーセンター）〈08〉
椿姫（露／ボリショイ劇場）〈09〉

【ニューイヤー オペラパレス ガラ】
オペラ・バレエ ガラ公演〈08〉
オペラ・バレエ ガラ公演〈09〉
オペラ・バレエ ガラ公演〈10〉

【地域招聘公演】
アンナ・カレーニナ（法村友井バレエ団）〈09〉
角兵衛獅子（新潟シティバレエ）〈10〉
くるみ割り人形／6DANCES／Memory house／DANCE（貞松・浜田バレエ団）〈13〉
Color of Dance（樋笠バレエ団）〈15〉

【ダンス】

＜開場記念公演＞
パノラマ展A
マスターワークス
パノラマ展B

＜1998/1999シーズン＞
コムヘリタキナ
ありす
凡人対美黄
FAUST
エロスの部屋 ～黒い乳母車

＜1999/2000シーズン＞
現実との3分間／非現実との3分間
神曲
ダンスコンサート 舞姫たちの午後
キングリア

＜2000/2001シーズン＞
ピノッキオ
Raj Packet-everything but Ravi
Close the door, open your mouth
／HYPER BALLAD
エヴァのひみつ

＜2001/2002シーズン＞
Metamorphosis／Signs : Landmark
森羅／空間の詩学
伊藤キム作品集
マーサへ
～空のなか 愛がふれあうとき～

＜2002/2003シーズン＞
未来の空隙は響き
Raj Packet II
DANCE EXHIBITION 2003
EXPECT／東京ダンスホール

＜2003/2004シーズン＞
舞姫と牧神達の午後
バレエ・プレレリジョカージュ
ヘリコプター／春の祭典
Against Newton II／騒ぐにはもってこいの日
Close the door, open your mouth
／花の歴史

＜2004/2005シーズン＞
DANCE EXHIBITION 2004
KAZAHANA 風花
移動の法則
赤光

＜2005/2006シーズン＞
舞姫と牧神達の午後
コラボレートする身体
バレエ・プレレリジョカージュ
（A）N
（B）Les 4 saisons...（四季）
きらめく背骨

＜2006/2007シーズン＞
DANCE EXHIBITION 2006
ガラスノ牙
如風 ～inside of wind～
Life Casting ～型取られる生命～

＜2007/2008シーズン＞
消息 Substance
ミロク MIROKU
ダンス名作展
未来へ繋ぐトリプル・ビル
空気のダンス
～デッサンから飛び立った少女～

＜2008/2009シーズン＞
DANCE EXHIBITION 2008
—Dance meets Music—
古楽とストラヴィンスキー
木佐貴邦子×平山素子
森山開次作品集
金森 穣 Noism09

＜2009/2010シーズン＞
鏡と音楽
Life Casting ～型取られる生命～
近藤良平 トリプルビル
DANCE to the Future
Wolfgang for Webb ほか

＜2010/2011シーズン＞
DANCE PLATFORM 2010
ストラヴィンスキー・イブニング
兵士の物語／春の祭典
イデヒアン・クルー アレルギー
DANCE to the Future 2011
ナット・キング・コール組曲 ほか

＜2011/2012シーズン＞
Shakespeare THE SONNETS
近松DANCE弐題
（A）女殺油地獄 （B）エゴイズム
カラマーゾフの兄弟
DANCE to the Future 2012
兵士の物語 ほか

＜2012/2013シーズン＞
曼荼羅の宇宙
DANCE PLATFORM 2012
（A）Beauties and Beasts （B）明るい部屋
DANCE to the Future 2013
The Well-Tempered／solo for 2 ほか
フランス印象派ダンス Trip Triptych

＜2013/2014シーズン＞
中村恩恵×首藤康之
DANCE to the Future～Second Steps～
ある女の子
ダンス・アーカイヴ in Japan
—未来への扉—

＜2014/2015シーズン＞
JAPON dance project TOKYO 2014
DANCE to the Future ～Third Steps～
ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015
森山開次「サーカス」

＜2015/2016シーズン＞
近松DANCE弐題
（A）「エゴイズム」 （B）「近松の女」
DANCE to the Future 2016
平山素子「Hybrid -Rhythm & Dance」
高谷史郎（ダムタイプ）
「CHROMA（クロマ）」

＜2016/2017シーズン＞
JAPON dance project 2016
DANCE to the Future 2016 Autumn
中村恩恵×新国立劇場バレエ団
「ベートーヴェン・ソナタ」
小野寺修二 カンパニーデラシネラ
「ふしぎの国のアリス」

＜2017/2018シーズン＞
山海塾「海の賑わい 陸の静寂 一めぐり」
高谷史郎（ダムタイプ）「ST/LL」
大駱駝艦・天賦典式「罪と罰」
森山開次「サーカス」

＜2018/2019シーズン＞
JAPON dance project 2018
ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2018
DANCE to the Future 2019
森山開次「NINJA」

＜2019/2020シーズン＞
中村恩恵×新国立劇場バレエ団
「ベートーヴェン・ソナタ」
DANCE to the Future 2020〈公演中止〉
小野寺修二 カンパニーデラシネラ
「ふしぎの国のアリス」〈公演中止〉

＜2020/2021シーズン＞
中村恩恵×首藤康之×
新国立劇場バレエ団
「Shakespeare THE SONNETS」
舞姫と牧神たちの午後2021
Co.山田うん「オバケッタ」

【文化庁舞台芸術フェスティバル】
シンボジウム 越境するダンス〈05〉
舞姫と牧神達の午後 韓国公演
（ソウル真洞劇場）〈05〉

【海外公演】
能楽と春の祭典
弱法師 花想説／春の祭典
（トルコ／CRRコンサートホール）〈10〉

DRAMA

【演劇】主催公演上演記録



『紙屋町さくらホテル』



『喪服の似合うエレクトラ』



『焼肉ドラゴン』



『かがみのかなたはたなかのなかに』



『スカイライト』

〈開場記念公演〉

紙屋町さくらホテル
蒲田行進曲 完結編 銀ちゃんが逝く
夜明け前
リア王

〈1998/1999シーズン〉

虹を渡る女
幽霊はここにいる
今宵かぎりには… 1928超巴里井主義宣言の夜
音楽劇 ブッダ
THE PIT フェスティバル
カストリ・エレジー スタインベック「二十日鼠と人間」より
神々の国の首都
寿歌
ディア・ライアー すてきな嘘つき
野望と夏草
新・雨月物語
子午線の祀り
セツアンの善人
羅生門
棋人 ―チーレン―

〈1999/2000シーズン〉

キーン 或いは狂気と天才
美しきもの伝説
―森本薫の世界―
かくて新年は
怒濤
華々しき一族
新・地獄変
なよたけ
夜への長い旅路

〈2000/2001シーズン〉

マクベス
ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲
欲望という名の電車
シリーズ「時代と記憶」
memorandum メモランダム
母たちの国へ
ピカドン・キジムナー
こんにちは、母さん
夢の裂け目
紙屋町さくらホテル
廣作・桜の森の満開の下

〈2001/2002シーズン〉

海外招待作品Vol.1 太陽劇団
堤防の上の鼓手
コペンハーゲン
美女で野獣
シリーズ「チャーホフ・魂の仕事」
Vol.1 かもめ
Vol.2 くしゃみ/the Sneeze
Vol.3 「三人姉妹」を追放せしトゥーゼンバフの物語
Vol.4 ワーニャおじさん 四幕の田園生活劇
Vol.5 櫻の園
その河をこえて、五月

〈2002/2003シーズン〉

海外招待作品Vol.2 国際チャーホフ演劇祭 in モスクワ
ハムレット
ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲
メヤジルシ ―誘われて
シリーズ「現在へ、日本の劇」
①ビルグリム
②浮標
③マッチ売りの少女
④サド侯爵夫人
涙の谷、銀河の丘
ゴロヴリョフ家の人々

〈2003/2004シーズン〉

nocturne 一月下の歩行者―
夢の泪
世阿彌
シリーズ「女と男の風景」
① 海外招待作品Vol.3 香港・劇場組合
The Game/ザ・ゲーム 不条理で奇妙なゲーム
② THE OTHER SIDE/線のむこう側
③ てのひらのこびと
④ 請願 ―静かな叫び―
こんにちは、母さん
透明人間の蒸気
ブロードウェイ・ミュージカル INTO THE WOODS

〈2004/2005シーズン〉

THE LOFT I 胎内
THE LOFT II ヒトノカケラ
THE LOFT III 二人の女兵士の物語
喪服の似合うエレクトラ
城
シリーズ「笑い」
① 花咲く港
② コミュニケーションズ 現代劇作家たちによるコント集
③ 箱根強羅ホテル
④ うら騒ぎ ノイズ・オフ

その河をこえて、五月

海外招待作品Vol.4 ベルリナー・アンサンブル
アルトゥロ・ウイの興隆

〈2005/2006シーズン〉

THE LOFT 黒いチューリップ/盲導犬
THE LOFT 屋上庭園/動員挿話
母・肝っ玉とその子供たち 三十年戦争年代記
ガラスの動物園
十二夜
シリーズ「われわれは、どこへいくのか」
① カエル
② THE LOFT マテリアル・ママ
③ やわらかい服を着て
④ 夢の痲
ブロードウェイ・ミュージカル Into the Woods

〈2006/2007シーズン〉

アジアの女
劇的な情念をめぐって―世界の名作より―
シラノ・ド・ベルジュラック
イワーノフ/オイディプス王
THE LOFT エンジョイ
コペンハーゲン
CLEANSKINS/きれいな肌
下周村 ―花に嵐のたとえもあるさ―
夏の夜の夢
氷屋来たる

〈2007/2008シーズン〉

「三つの悲劇」―ギリシャから
Vol.1 アルゴス坂の白い家 ―クリュタイムストラ―
Vol.2 たとえば野に咲く花のように―アンドロメケ―
Vol.3 異人の唄―アンティゴネ―
屋上庭園/動員挿話
焼肉ドラゴン
オットーと呼ばれる日本人
シリーズ・同時代
Vol.1 鳥瞰図 ―ちようかんず―
Vol.2 混じりあうこと、消えること
Vol.3 まほろば

〈2008/2009シーズン〉

近代能楽集 綾の鼓/弱法師
山の巨人たち
舞台は夢 イリュージョン・コミック
シリーズ・同時代【海外編】
Vol.1 昔の女
Vol.2 シュート・ザ・クロウ
Vol.3 タトゥー
夏の夜の夢
現代能楽集 鶴

〈2009/2010シーズン〉

ヘンリー六世 第一部 百年戦争
ヘンリー六世 第二部 敗北と混乱
ヘンリー六世 第三部 薔薇戦争
象
東京裁判三部作
第一部 夢の裂け目
第二部 夢の泪
第三部 夢の痲
エネミイ

〈2010/2011シーズン〉

JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
I ヘッド・ガーブレル
II やけたトタン屋根の上の猫
III わが町
IV ゴドーを待ちながら
焼肉ドラゴン
鳥瞰図 ―ちようかんず―
雨
おどくみ

〈2011/2012シーズン〉

【美×劇】―滅びゆくものに託した美意識―
I 朱雀家の滅亡
II イロアセル
III 天守物語
パーマ屋スマレ
まほろば
負傷者16人 ―SIXTEEN WOUNDED―
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
V サロメ
VI 温室

〈2012/2013シーズン〉

リチャード三世
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
VII るつぼ
音のない世界で
長い墓標の列
With―つながる演劇―
ウェールズ編 『効率学のススメ』
韓国編 アジア温泉
ドイツ編 つく、きえる
象

〈2013/2014シーズン〉

Try・Angle―三人の演出家の視点―
Vol.1 OPUS/作品
Vol.2 エドワード二世
Vol.3 アルトナの幽閉者
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
VIII ピグマリオン
マニラ瑞穂記
テンペスト
十九歳のジェイコブ
永遠の一瞬 -Time Stands Still-

〈2014/2015シーズン〉

JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
IX 三文オペラ
二人芝居 ―対話するカー―
Vol.1 プレス・オブ・ライフ～女の肖像～
Vol.2 ご臨終
Vol.3 星/数ホド
ウィンズロウ・ボーイ
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
X 海の夫人
東海道四谷怪談
かがみのかなたはたなかのなかに

〈2015/2016シーズン〉

バッション
桜の園
バグダッド動物園のベンガルタイガー
鄭義信 三部作
焼肉ドラゴン
たとえば野に咲く花のように
パーマ屋スマレ
あわれ彼女は娼婦
「かくや姫伝説」より 月・ごうごう、風・そうそう

〈2016/2017シーズン〉

フリック
ヘンリー四世 第一部
ヘンリー四世 第二部
かさなる視点―日本戯曲の力―
Vol. 1 白蟻の巣
Vol. 2 城塞
Vol. 3 マリアの首
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
XI 君が人生の時
JAPAN MEETS… ―現代劇の系譜をひもとく―
XII 怒りをこめてふり返れ

〈2017/2018シーズン〉

トロイ戦争は起こらない
プライムたちの夜
かがみのかなたはたなかのなかに
赤道の下のマクベス
1984
ヘンリー五世
夢の裂け目
消えていくなら朝

〈2018/2019シーズン〉

誤解
誰もいない国
スカイライト
かもめ
少年王者館「1001」
オレスティア
骨と十字架

〈2019/2020シーズン〉

シリーズ「ことぜん」
Vol.1 どん底
Vol.2 あの出来事
Vol.3 タージマハルの衛兵
反応工程〈公演中止〉
ガールズ&ボーイズ -Girls & Boys-〈公演中止〉
願いがかなうぐつぐつカクテル
イヌピト～犬人～

〈2020/2021シーズン〉

ガラスの動物園〈公演中止〉
リチャード二世
ピーター&ザ・スターキャッチャー
シリーズ「人を思うちから」
其の一 斬られの仙太
其の二 東京ゴッドファーザーズ
其の三 キネマの天地
反応工程

【海外公演】

羅生門(蘭/ヘット・ミュージック・シアター)〈00〉
その河をこえて、五月(韓/ソウル芸術の殿堂)〈02〉
ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲
(米/リンカーン・センター、ケネディー・センター)〈02〉
その河をこえて、五月(韓/ソウル芸術の殿堂)〈05〉
下周村―花に嵐のたとえもあるさ―
(中/香港文化中心劇場、北京・中国児童芸術劇場)〈07〉
焼肉ドラゴン(韓/ソウル芸術の殿堂)〈08〉
焼肉ドラゴン(韓/ソウル芸術の殿堂)〈11〉
アジア温泉(韓/ソウル芸術の殿堂)〈13〉

【演劇研修所修了生のためのサポートステージ】

西埠頭 Quai Ouest(ケウエスト)〈10〉

【こつこつプロジェクトーディベロップメントー】

リーディング公演〈19〉・試演会〈19・20〉
スペインの戯曲
リチャード三世
あーぶくたつた、にいたつた

フロアガイド

FLOOR GUIDE

新国立劇場は3つの劇場があるだけではありません。例えば、みなさまの目につかない地下2階にもうけられたリハーサルフロアには大小19のリハーサル室があります。また、研修関係施設や組立場、画工場といった舞台製作施設、収納庫なども完備しています。さらに調査・情報関係施設も情報センターとしてお客様や研究者、舞台関係者にご活用いただいています。

※新型コロナウイルス感染予防、拡散防止のため、一部休止しているサービスがございます。(2020年9月現在)



中劇場 ホワイエ

連なる円柱が特徴で、広々としたホワイエ。buffetも併設され、開演前、幕間の休憩時間に舞台の話に花を咲かせるのに最適な空間です。



中劇場

幅16.8m、高さ9mの中劇場の舞台、主舞台の前面から奥舞台まで約30mという広さ。奥舞台部分も生かして奥行きのある美術、舞台が可能です。



情報センター

5階にある情報センターでは、国内外の舞台芸術の成果をマルチメディアにより公開。閲覧室は、公演プログラムや参考図書を自由に閲覧できます。またタブレット、ビデオブース、ビデオシアターでは新国立劇場の主催公演の映像等を視聴できます。



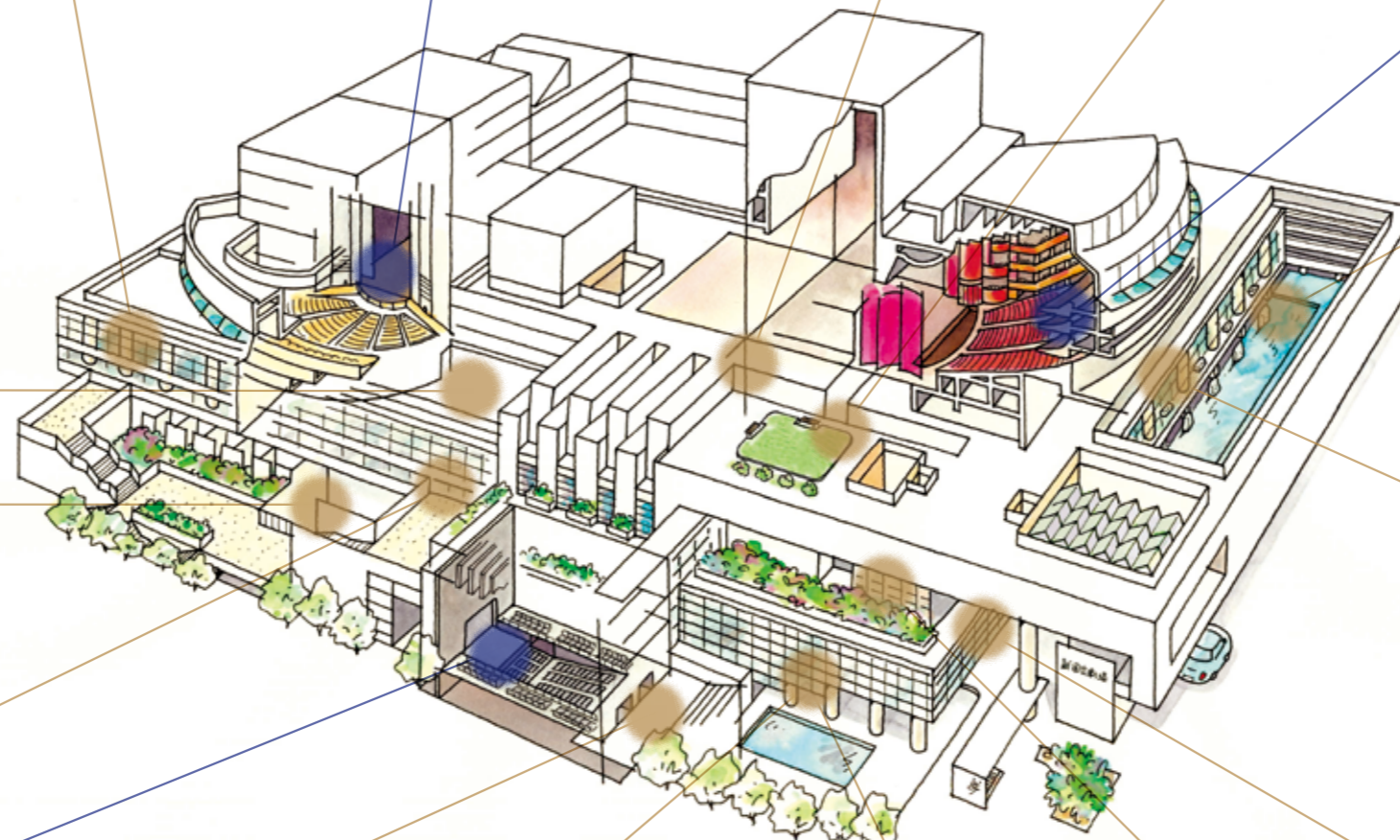
屋上庭園

ご観劇の際の休憩場所として、皆さまの憩いの場所としての屋上庭園があります。



オペラパレス〈オペラ劇場〉

オペラパレスの舞台は、舞台面から天井にあたるスノコまで30.5m、逆に舞台面から下方の奈落まで15.7mもあり、普通のビルにたとえると優に7階分はあります。



リハーサルフロア

地下2階にあるリハーサルフロア。オペラ専用の大きなリハーサル室が2つ、オーケストラ、合唱のために2つ、バレエリハーサル室、演劇用の2つのリハーサル室のほか、スタジオなど、大小19のリハーサル室があります。



キッズルーム〈ドレミ〉

ご観劇のお客様は託児サービスをご利用いただけます。



待ち合わせコーナー

1階のサブエントランスを入ったところに、国内外の劇場の情報をちらし等によって提供しています。また、備えつけのタブレットで新国立劇場の公演記録も調べられます。



小劇場

舞台の形状によって劇場自体がまるで違って変化する小劇場。劇場の大きさは、平面寸法で27.6m×16.6m、高さは10mあります。



小劇場 ロビー

ごちんまりしたなかにも大きなガラス窓を通して池をのぞむことができる小劇場のロビー。buffetも併設されています。



シアターショップ

1階のメインエントランスの一角にあり、ウィーンからの輸入品をメインに、国内外の珍しい音楽雑貨を取り扱っています。



総合インフォメーション&ボックスオフィス

1階のメインエントランスにある総合インフォメーションでは劇場施設のご案内、ボックスオフィスでは新国立劇場で行われる公演のご案内と主催公演等のチケットの販売を行っています。



レストラン〈マエストロ〉

ゆったりとご飲食が楽しめるイタリアンレストランが3階にあります。公演時にはプレ/アフター・シアターメニューもご用意しています。



メインエントランス

お客様を劇場にいざなうメインエントランス。観劇へ、心ときめくひとときです。



ギャラリー

メインエントランスに入り、中劇場へ向かうプロムナードの上方左右には劇場で上演された公演の衣装や舞台写真などを展示しています。



テラスガーデン

オペラパレスのホワイエからつづくテラスで、幕間のひとときをゆったりお過ごしください。



池

オペラパレスホワイエ下に清く澄んだ池が見えます。新国立劇場にお出かけのお客様の心をなごませ、観劇前の高揚感を、また感動の余韻を静かに見守っているようです。小劇場の前にも池があります。



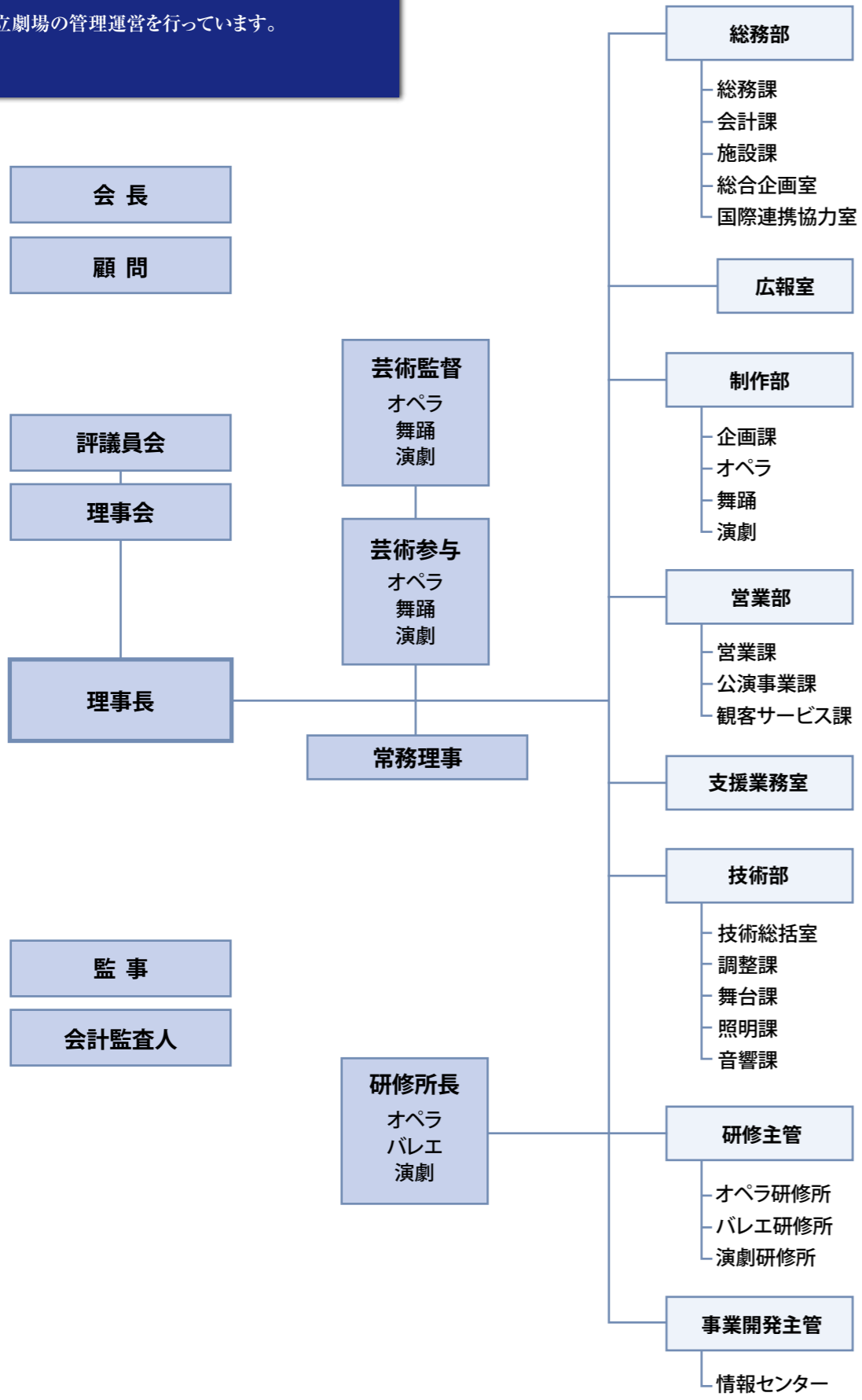
オペラパレスホワイエ

全面ガラス、連なる円柱、各階に設けられたバルコニー、そしてbuffet、オペラやバレエの鑑賞にふさわしい広々としたホワイエで、お客様のオペラ談義が聞こえてきそうです。

運営組織

THEATRE MANAGEMENT ORGANIZATION

公益財団法人新国立劇場運営財団は、包括的に新国立劇場の管理運営を行っています。



チケット購入のご案内

新国立劇場主催公演のチケットは以下にてご購入いただけます。

新国立劇場ボックスオフィス

電話 | 03-5352-9999 (10:00～18:00)

窓口 | 1Fボックスオフィス (10:00～18:00)

年末年始・休館日を除き年中無休

インターネット | Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

ほかに、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、東武トップツアーズなどでも取り扱っています。

グループでのお申し込み:10名様以上でご観劇の場合は新国立劇場営業部までお問い合わせください。
TEL:03-5352-5745 eメール:opera09@nntt.jac.go.jp
※最新の営業状況はウェブサイトをご確認ください。

青少年のための優待チケット

青少年やふだん劇場に足を運ぶ機会の少ない世代の方々に舞台芸術により親しんでいただくため、お得な優待チケットの情報などのご案内をメールでお届けしております。

U15ファミリー優待 チケット 4～15歳の方対象(保護者と一緒に観劇)	U25優待チケット 25歳以下の方対象	U39オペラ優待 チケット 39歳以下の方対象
オペラ S・A席チケットが 5,000円 バレエ・ダンス 演劇 定価の半額		オペラ S・A席チケットが 11,000円

詳細はウェブサイトをご参照ください。 www.nntt.jac.go.jp/ticket/general/youth-members/

新国立劇場友の会 <クラブ・ジ・アトレ>のご案内

新国立劇場では、舞台芸術を愛する方々のために、友の会組織「CLUB The Atré(クラブ・ジ・アトレ)」を設け、次のような数々の会員特典をご提供しています。

- ①チケットの優先予約・会員割引、②会報誌「ジ・アトレ」で充実の公演情報や会員限定記事を提供、③ポイントアップサービス、④会員限定イベントの実施、⑤その他観劇体験や駐車場割引など特典多数

【お申込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999 (10:00～18:00)

クラブ・ジ・アトレWebサイト www.nntt.jac.go.jp/atre

賛助会員のご案内

新国立劇場は賛助会員の制度を設け、皆様からのご支援をお願いしています。

○賛助会員にご入会いただくと、舞台稽古見学会や懇談会へのご招待、主催公演・研修公演など劇場への理解と関心を深めていただくための様々なご案内をさせていただきます。

賛助会費…法人賛助会費:年額100万円より、個人賛助会費:年額10万円より

○新国立劇場への賛助会費は、確定申告により税制上の優遇措置の適用を受けることができます。

ご寄附・ご協賛金、その他お問い合わせは、
新国立劇場支援業務室まで TEL:03-5352-5911 (平日 11:00～17:00)



アクセス

電車で

京王新線(都営新宿線乗り入れ)初台駅中央口直結

車で

山手通り、甲州街道交差点

首都高速4号線新宿出口、初台出口

首都高速中央環状線中野長者橋出口すぐ

バスで

都営バス、京王バスが渋谷、新宿、中野、阿佐ヶ谷の各駅から初台駅周辺へ運行しています



建物概要

敷地面積: 28,688㎡

建築面積: 19,489㎡

延床面積: 69,474㎡

階数: 地下4階 地上5階

高さ: 最高高さ40.9m 最高深さ30.7m

建築設計: 柳澤孝彦+TAK建築研究所

発行 公益財団法人新国立劇場運営財団
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1
TEL.03-5351-3011
<https://www.nntt.jac.go.jp>

写真 加藤 甫 [表紙写真]
西村次雄 (スタジオBB)
三枝近志 [オペラ舞台写真]
寺司正彦 [オペラ舞台写真]
瀬戸秀美 [バレエ・バレエ研究所舞台写真]
鹿摩隆司 [バレエ・ダンス舞台写真]
細野晋司 [演劇舞台写真]
谷古宇正彦 [演劇舞台写真]
宮川舞子 [演劇舞台写真]
平田真璃 [オペラ研修所舞台写真]
小林由恵 [演劇研修所舞台写真]

イラスト デザイン 伊世谷 豊
小松清一 (フェイスデザイン)
編集協力 ラユニオン・パブリケーションズ